

ちっちゃいものくらぶ

こんにちは、みんな。久しく画伯は筆を止めていたので、改めて「ちっちゃいものくらぶ」の紹介をするね。

「ちっちゃいものくらぶ」は保健室だよりの裏面に棲息する生き物を紹介するコーナーだよ。このくらぶで紹介する会員は一応 150cm までというのが原則なんだ。でも時には必要に応じて、大きな子も載せちゃうかもしれないです。みんなには同じ地球で暮らすいろんな生き物について、生きるためにどんな工夫をしているか、どんなふう子育てをしてるのかなど、大切な命について考えてもらうひとときを作ってもらえたらなあと思って書いてます。彼らが懸命に生きる姿を知り、人間を勇気づけられたらと思います。

コアラ(さん)

多分、誰でも知ってる有名な仲間だね。

分類：カンガルー目コアラ科コアラ属

主食：ユーカリの葉っぱを約 1 kg でも好きな部分しか食べない

生活：ユーカリがほとんど栄養がないので一日中食っちゃ寝して体力を節約する。基本的には単独生活。

体長：65～82 cm **体重**：4～15 kg **平均寿命**：15年

手の構造：サル目とは異なり、枝をつかむ時は、前足の親指と人さし指、残りの3本の指が向かい合わせになる。後ろ足はサル目と同じように、親指がほかの4本と向かい合っているが、人さし指と中指はくっついていて離れない。これがカンガルー目の特徴の一つ。

生息地：オーストラリアの森林

ユーカリの葉とコアラの関係

コアラは昔、地上で暮らしていた。しかし地上性の動物との競争に敗れ、森林の上層に逃れたと考えられている。そしてオーストラリアの森林に生えていたユーカリを主食とするようになった。もともとユーカリには、昆虫を寄せつけないよう、嫌な臭いを出す能力があった。ユーカリはコアラから身を守るために、「テルペン類」や「タンニン類」という有害物質にして対抗した。しかしコアラの中にこの毒を解毒できる子が現れた！長い腸や2mもある盲腸で、細菌や原虫、酵素の働きを借り、ユーカリを分解・消化し、葉に含まれる毒は肝臓で完全に無毒化できるようになった。ところがさらに強い毒を出すユーカリが現れた。コアラは負けたのか？いえいえ、この解毒に成功したコアラがまたまた出現した。このように、食物連鎖の「食う・食われる」の関係にある生物が、お互いをしのごうと進化していくことを「共進化」というそうさ。



コアラの赤ちゃんの育て方

体長 2cm、体重 0.5g というすごく未熟な状態で生まれます。でもお母さんの育児嚢という袋まで頑張ってたどり着き、おっぱいに吸いつきます。

5ヶ月頃から離乳食としてお母さんの盲腸で作った未消化の便を食べ、そこからユーカリの消化に必要な微生物をもらいます。だから赤ちゃんは生涯、お母さんと同じ種類のユーカリを食べるようになるんだそうです。

コアラは本気を出すとすごい速さで走るよ！

パスの方の施設だったか、そこで疾走するコアラを目撃した。抱っこする時は、ほっぺをつねられることがあるのでご用心を。爪が結構痛い。

さらにカンガルー島というオーストラリアの南の方で、バスを降りたら、すぐそばの木にコアラが抱きついていて。なんと、本物のコアラがその辺にフツーにいた！フツーに！野良猫ならぬ、野良コアラです。